

東京湾海況情報 28-1

東京湾水質調査結果（平成28年4月）

（平成28年4月11日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 4/5：内湾(ふさなみ)、内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(4/5)、東京湾口海況図(4/5)
 モニタリングポスト(4/5：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)
 東京都環境局(4/7)

東京湾海況情報は、毎月1回行っている水質調査の結果をとりまとめ、ホームページで公開しています。どうぞ御利用願います。

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温(図1)は内湾が13~14℃前半、内房海域は14~17℃台で、金谷から南の海域では平年より約2℃高くなっています。塩分はほぼ全域で30~34PSU台で、平年並みからやや高めでした。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、塩分33.5PSU以上のやや高い水塊が内湾中央部の水深20m付近までみられています。

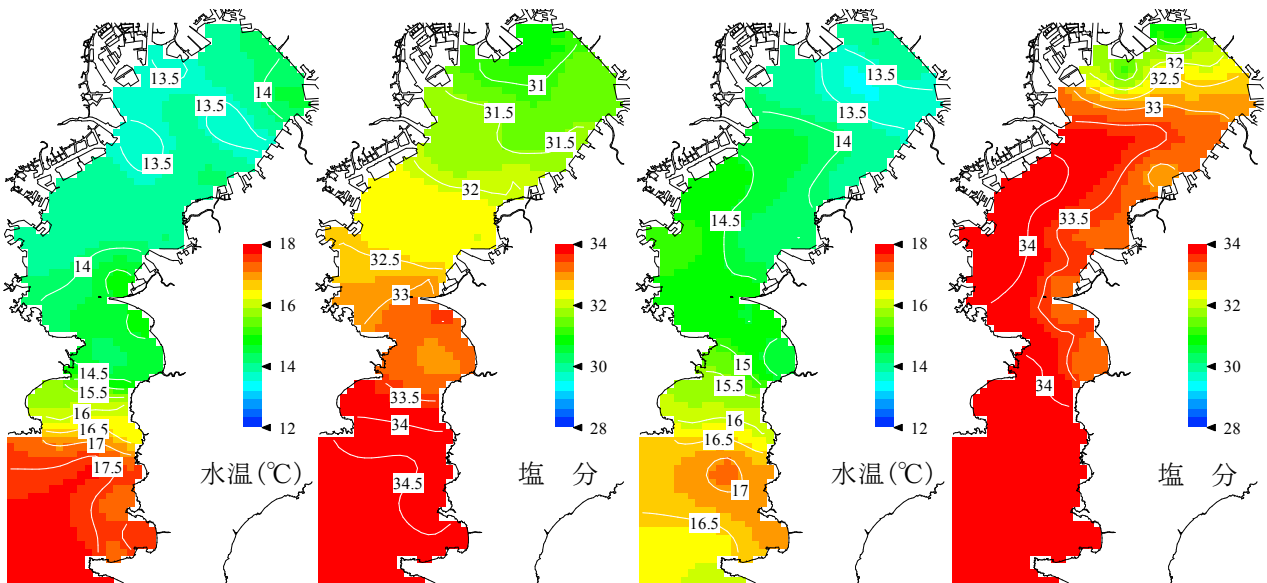


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

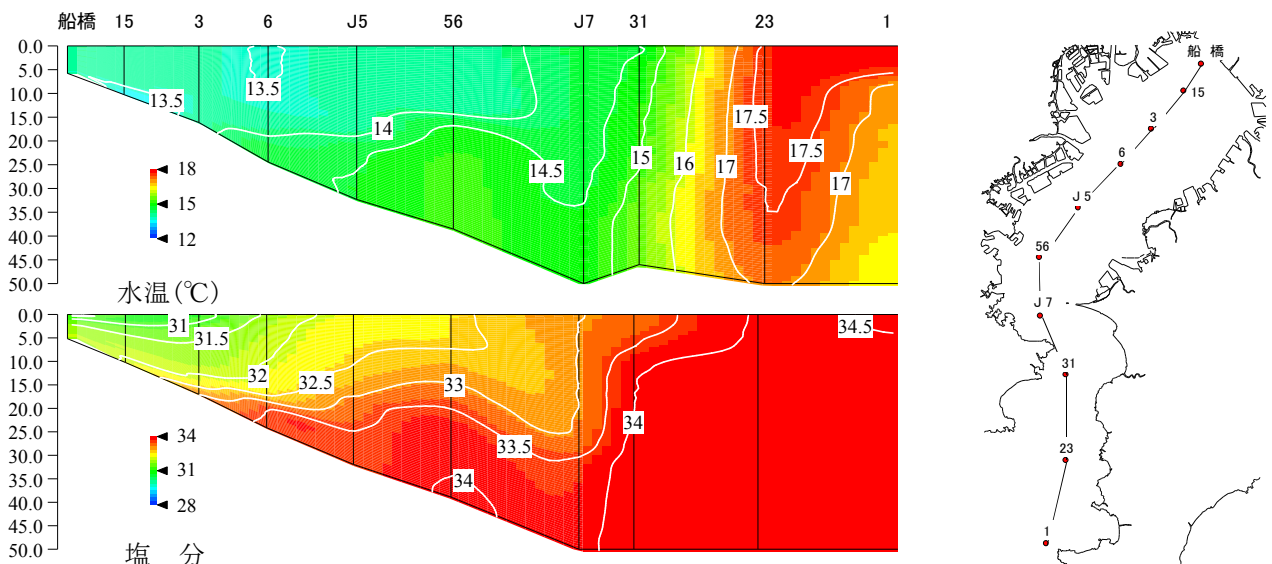


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮はアクアライン以北の海域で発生し、浦安から船橋にかけての北西部側では、pH8.5～8.6、透明度3mを下回り、水色は褐色を呈する状況でした。

優占種は渦鞭毛藻のセラチウム(*Ceratium fusus*)で、その他にケイ藻のレプトキリンドルス(*Leptocylindrus danicus*)やスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)がやや多くみられていました。

一方、保田から富浦にかけての周辺海域ではケイ藻のユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)がみられる程度でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

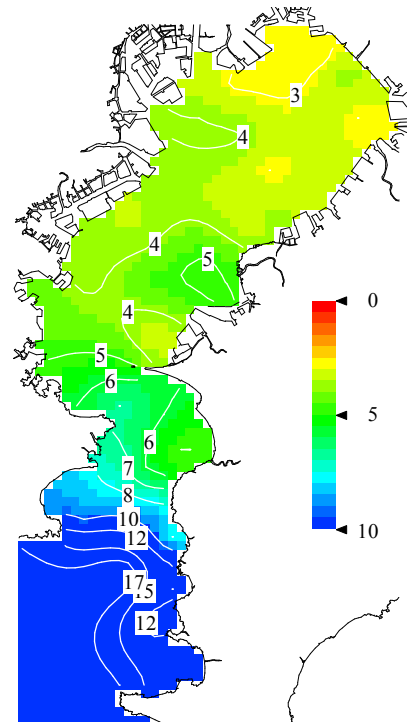


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は内湾北部海域の東側で低下し、やや弱い貧酸素水塊がみられました。

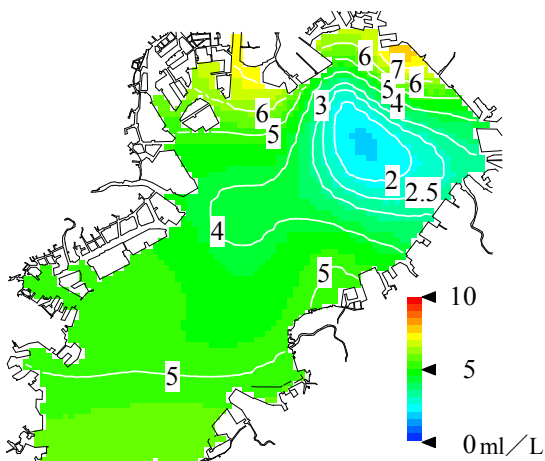


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)
船橋 15 3 6 J5 9

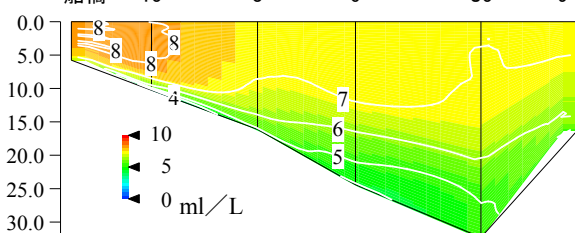


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO₄-P)とも内湾から内房北部海域で平年より少なくなっています。

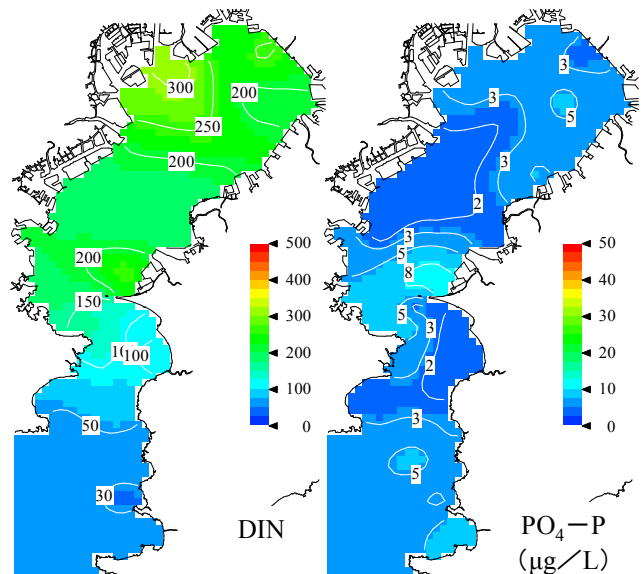


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮はB型基調で推移し、その流軸は5日現在御蔵島付近を通過した後、房総半島南東岸を接岸しながら流れています(図8)。

これに伴い、東京湾口に沖合水の流入がみられています。

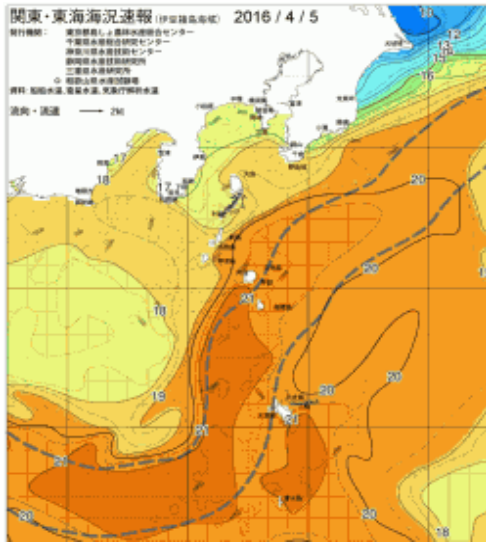
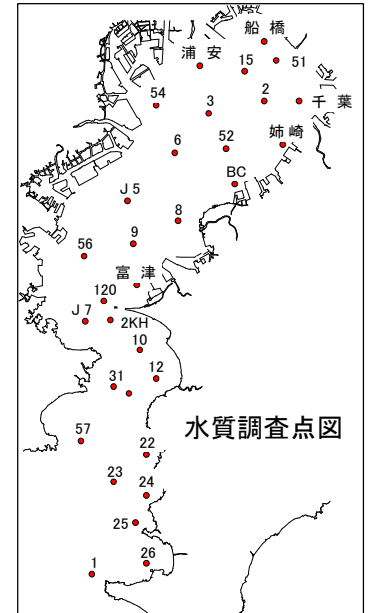


図8 黒潮の動き (平成28年 4月 5日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2006~2015年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	13.9 (14.2)	30.89 (30.75)	2.8 (2.3)	8.6 (8.5)	6.7 (6.5)	27 (45)	216 (327)	4 (13)
	st.15	13.7 (13.8)	30.86 (30.73)	2.8 (2.6)	8.6 (8.5)	2.3 (4.8)	8 (25)	220 (324)	3 (6)
	st.3	13.7 (13.6)	31.53 (30.68)	4.0 (3.0)	8.5 (8.5)	4.1 (4.3)	32 (25)	271 (359)	2 (4)
	st.6	13.5 (13.4)	31.63 (30.56)	3.7 (3.4)	8.5 (8.4)	3.8 (4.1)	20 (38)	217 (410)	2 (6)
	st.9	13.7 (13.8)	32.21 (31.34)	4.8 (3.7)	8.4 (8.4)	4.8 (4.9)	12 (25)	162 (287)	3 (4)
	st.BC (盤洲Cブイ)	14.0 (14.1)	31.97 (31.84)	3.8 (3.5)	8.4 (8.4)	4.9 (5.1)	27 (31)	192 (275)	5 (7)
	st.8 (盤洲A南)	13.7 (13.6)	32.27 (31.98)	5.0 (3.7)	8.4 (8.3)	4.4 (4.7)	21 (31)	174 (270)	2 (7)
	富津	14.6 (14.2)	32.60 (31.92)	3.3 (3.6)	8.2 (8.3)	5.3 (5.0)	83 (32)	247 (238)	9 (4)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	14.3 (13.7)	33.17 (32.64)	6.0 (4.4)	8.3 (8.3)		13 (24)	122 (203)	3 (7)
	st.31	14.4 (13.5)	33.17 (32.75)	7.0 (5.0)	8.3 (8.2)		7 (12)	100 (195)	3 (5)
	st.23	17.7 (15.2)	34.55 (34.05)	18.0 (9.0)	8.2 (8.2)		1 (10)	45 (47)	6 (5)
	st.1	17.7 (15.4)	34.67 (34.37)	17.0 (11.2)	8.2 (8.2)		3 (9)	50 (62)	4 (7)
	st.10 (下洲沖)	14.4 (13.9)	33.11 (33.11)	6.0 (5.1)	8.3 (8.2)		3 (16)	97 (161)	2 (7)
	st.12 (湊沖)	14.3 (14.2)	33.04 (33.29)	5.0 (5.3)	8.3 (8.3)		18 (11)	103 (112)	1 (5)
	st.22 (保田沖)	16.1 (15.1)	34.01 (34.15)	8.0 (8.8)	8.2 (8.2)		7 (11)	48 (58)	3 (5)
	st.24 (富山沖)	17.4 (15.3)	34.42 (34.26)	12.0 (9.8)	8.2 (8.2)		4 (13)	36 (45)	4 (6)
	st.26 (館山湾内)	17.7 (15.5)	34.52 (34.29)	14.0 (9.6)	8.2 (8.2)		6 (11)	46 (44)	7 (6)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。